



2012 J.League Division2 第7節 京都サンガ 戦

4/8(日) 16:00~

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

F C岐阜大好き通信(岐大通)

4/8号

編集発行:『岐大通』製作委員会

今号の製作担当:

ささたく&吉田鑄造

today's guest : 京都サンガ 2011 J2 1勝7分1敗 勝ち点58 第7位

1922(大正11)年に京都府師範学校(現:京都教育大学)のOBチームとして創設された『京都紫郊クラブ』を祖とし、J所属の40クラブの中で最古の歴史を持つ。1989-90シーズンに2度目のJSL昇格を果たす。1993年に「京都パープルサンガ」としてプロ化。1995年JFLで準優勝(最終戦で西濃運輸にVゴールで敗れ優勝を逃す。逆転優勝は福岡ブルックス=現:アビスパ福岡=)、翌年よりJ加盟。1年目の1996年は開幕1連敗という不名誉な記録を残す(NHK「クローズアップ現代」でも取り上げられた)。しかし、松井大輔、黒部光昭、朴智星らを擁した2002年の天皇杯で優勝、関西にJ以降で初のビッグタイトルをもたらす。2007年より「京都サンガ」に改称。2011年に4度目のJ2降格となる。昨年はJ2を7位で終えるも天皇杯で決勝まで勝ち進み若い勢いを見せた(優勝は同じくJ2だったFC東京)。リーグ最高順位は2002年のJ1・総合5位。(吉田鑄造)

アウェイで熊本に敗退し、3連敗のFC岐阜。ついに順位も最下位(22位)にまで落ちてしまった。もちろん、まだリーグ序盤。この順位が確定している訳でもないし、それほど順位や勝ち点を焦る時期でもない。しかし、やはりサポーターにとってもチームにとっても、初勝利は早く欲しいもの。まだ歯車が噛み合っていないチームの状況を上向きにするためにも、初勝利が必要だ。とはいえ、勝利のためには、チームには攻撃面でも守備面でも課題が山積している。開幕から6試合で、FC岐阜の得点は僅か3点なのに対し、失点が12。つまり1試合平均で2失点し、0.5得点しかできていない計算だ。これでは勝利は難しい。行徳監督は、スタメンを変更してチーム戦術のバランスを図っており、それがある程度は効果を見せているようにも思えるが、まだまだ改善しなくてはならない。

最も重要な改善点はセットプレーだろう。コミュニケーション不足からか、セットプレーで安易に失点するシーンが多いし、その一方で、数多くある(相手チームよりも数が多いこともある)セットプレーからの得点が、まだ今季は1点しかない。攻守共にセットプレーの精度を上げることが、勝利への近道だろう。特に、前節の熊本戦では、せっかく試合の流れを掴んでいたのに、前半終わり際と後半開始直後のセットプレー2発で試合を失ってしまった。この点については選手たちも痛いほど感じているはずだ。今節の奮起に期待したい。

一方の京都は、タレントが豊富でJ1昇格候補のチーム。若干出遅れた感はあるものの、今季は現在4勝2敗で4位とまずまず順調だ。特に攻撃陣は、FWの#9ドウトラが鹿島に移籍したが、#13宮吉、#15中山、#11原、#23中村など、相手にすると嫌な選手がズラリと並ぶ。しかし、昨年のホーム長良川では、ロスタイムでの劇的な逆転勝利で京都に勝っているFC岐阜。今年もホーム長良川で京都を破り、今季初勝利を掴めるか。(ささたく)

Looking back 2011

第19節 7/3 @長良川
3-2 得点者:西川、佐藤、永芳

第38節 12/3 @京都・西京極
1-3 得点者:押谷

前半のうちに2点を奪われ、これまでの悪い流れの再現か...?と思われたが、京都が急造3バックだったこともあり機能を失って岐阜ペースに。後半の早いうちに追いつくと、アッドタイムに右からの嶋田の低く速いクロスにファーサイドでフリーの永芳が押しこみ逆転。1試合ぶりの勝利。

シーズン最終戦。失点を重ねるこのシーズンそのままの展開。最後に押谷が意地の一発を見舞うが、反撃もそこまで。(吉田鑄造)

2012J2 順位表 第6節 勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績(岐阜から見て)

1	湘南	16p	+7	15	8	A
2	東京V	13p	+6	11	5	
3	大分	12p	+5	11	6	H
4	甲府	12p	+4	11	7	
	京都	12p	+4	11	7	
6	水戸	11p	+4	6	2	
7	千葉	10p	+5	9	4	
8	福岡	10p	+3	10	7	
9	北九州	10p	+1	7	6	
10	山形	10p	0	8	8	
11	愛媛	8p	+3	7	4	
12	栃木	8p	-2	5	7	
	岡山	8p	-2	5	7	
14	熊本	7p	0	9	9	A
15	徳島	7p	-1	6	7	A
16	町田	6p	-1	6	7	
17	草津	6p	-3	5	8	H
18	富山	5p	-2	7	9	
19	鳥取	4p	-8	6	14	H
20	松本	4p	-8	2	10	
21	横浜FC	3p	-6	2	8	
22	岐阜	2p	-9	3	12	==



本庄工業株式会社

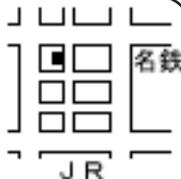
<http://www.honj-woodream.com/>

ALADDIN

何も無い店だけど...
心の花が咲く...
何も無い店だけど...
心癒される...
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

「いらっしやいませ」より「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。



休:日曜日(今日はお休みです)

投稿募集!

gidaidohr@hotmail.co.jp

次回 HomeGame

第8節 ギラヴァンツ北九州戦

4/15(日) 16:00
@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

【第5節】岐阜0-2大分

良かった時間は確実にあった。けどそこで決めずリスト
スタート2つで2失点の完封負け。

負けるチームの典型的な負け方。勝ち方知らないとも言える
かな。勿論、百選練磨の服部の存在は認めてますがまだ
そのエスプリは浸透してないのが現実ですね。もっとも即
効性のあるものだとも最初から思ってませんでした。

ハッキリ言い切れるのは昨年と違い、きちんとサッカーを
してるってこと。昨年はサッカーと呼べる代物ではなかつ
た。ましてやお金を貰って見せる物とは到底呼べないレベ
ルの。

このチーム、このサッカーならきっかけ1つで変われます。
それを信じて今は見守るべきだと考えてます。

(ジュニア)

長良川に着いた時は、ホントに今晚雪が降るんじゃない
か？と思うくらいな寒さだったけど、ピッチ内練習が始ま
る頃にはその心配はなくなった空。

でも、肝心の試合がね(苦笑)湘南戦はもう少し心が躍っ
たんだが。大分の方がバイタルエリア辺りの繋ぎとかがで
きてたように思うが、どうだろう？

MDJ(マッチデイJリーグ)も見ただけど、1点目が残念
だったね。バクスタからは大介と誰かがかぶっちゃったよ
うに見えたけど、やっぱりミスだったな。さらに2点目は、
バクスタから見てても頭ひとつどころか胸あたりまで飛び
出したような打点に見えた。それだけ、フリーな状態で合
わせられたのかと思うと脱力感は否めない。ガマンの日々
はまだまだ続く。とはいえ、昨季はガマンするだけムダに
思えたり、どこか諦観すら携えていたことに比べれば、な
んてことはない。今年の桜はいつもより遅れそうだけど、
チームの開花もじっくり待ってみたい

さて、ハットの例の話。ブーイング、か。サポならずとも
気になることかもしれないが、自分としては「ブーイング
はしない。」というスタンスだ。でも、考え方とかはそれ
ぞれだし、「しない」と決めてかかるのもどうかと思うが、
決めただけではなく知らない間にそう思うようになってた
んでしかたがない(苦笑)とはいえ、不甲斐ない試合では腕
組みをして無言で立っているのだから、あんまりたいした
違いはないとも言える。そんな考え方だから昨季もブー
イングしなかったが、逆にしたらどうなってたんだろうね？
それを受け止める選手達が反発、というか「じゃあ、勝て
ばいいんだろ」とか「見てろよ」とかの反骨精神、何苦楚
魂みたいなのがあればいいけど、それは選手達に信念や土
台、監督への信頼感、やってること、やろうとしているこ
とへの自信とかがなければ、カンタンに折れたりキレたり
するだけなんじゃないかな？単なるヤジや怒りにまかせた
ブーイングだと、ただの八つ当たりになっちゃうような気
もするし。ブーイングも必要かもしれないけど、それをこ
らえて拍手したり、チャントやコールを繰り返すのもアレ
で案外体力や根性いるんだぜ>ハット。

そりゃ、選手とは比較のしようもないが、ピッチ内練習か
らずっとやってるんだもん。オマケに、時間を見つけてよ
り良いサポートしようといういろいろアイデアをひねってガン
バってる仲間もたくさんいる。気合いも祈りも込めてるか
ら、結果が出ないのはやっぱりツライ。

だけどね。「ブーイングしてください」という言葉が出る
くらい、今季の選手は悔しい思いをしてるんだろうし、昨
季よりもプロフェッショナルとしての自覚がある選手が多
いんじゃないかな？そう信じて、今日もスタジアムに向か
います。(ぐん、)

前半のうちから見事な膠着戦で、正直言っているFC
岐阜の攻撃コーディネートでは『撃ちあいになったら負け
る』のは明らかで、「ミスした方が負ける」って思っ
て観ていた。だから多田のミス(とっては厳しいかもし
れないけど)で失点したときは「あ、これで負けだな」と
思ったし、0-1の敗戦なら受け入れられた。でも、2失
点目はいただけない。たしかにすごい高い打点で入られた
のだけど、そもそもなんであそこにフリーで入られるのか
と。

基準点を『昨年のFC岐阜』におくなら、いまの方向性は
間違っていないと思うし、光だって見えている。でも、観客
みんなが基準点を『昨年のFC岐阜』に置いているわけ
でもないだろうし、その見えている光がだんだん大きく明る
くなっているようには残念だけと思えないし、そもそもそ
んな光を“商品”にしていたって売れはしない。

リーグが始まって一月が過ぎた。7分の1はもう終わった
のだ。そろそろ、目に見える形での『結果』が必要な時期
な気がするのだけど。試合『結果』なら最高だけど、せめ
て「我々に見えている光はだんだん大きく明るくなってい
る」という手ごたえくらいは欲しいところ。残念ながら、
現状は「昨年よりはマシ」というPSM磐田戦から先に進
んでいるようには思えない。

(吉田鑄造)

【ユース】公式戦が始まります

我らがFC岐阜ユースU-18(以下FC岐阜ユース)
は今年岐阜県高校世代のリーグ戦では「G2リーグ」に参
戦します。

4月4日に県サッカー協会の公式サイトにて日程が発表さ
れていました。今年も4月から9月に試合が開催されます。
FC岐阜ユースは4月14日(土)14時キックオフで各
務原高校にて行われる各務原高校Bとの対戦が初戦とな
ります。トップチームの試合とバッティングしていませんし、
もし良ければ応援に来てやって下さい(ペコリ)。

あと、4月は「日本クラブユース(U-18)サッカー選
手権東海大会」も開催される筈なんですけど、こちらは4
月4日現在まだ発表されていません。ユース連盟様、早く発
表して下さいね。

では、今年も頑張っていきましょう！FORZA!FC岐
阜ユース!!

(シュナ)

FC岐阜サポによる ゲリラ的Ustream配信番組

今シーズンからのサポーター発信企画として、基
本的にホーム戦の前日に、インターネットの動画
共有サービス「ユーストリーム」を利用した手作
り感満載の番組を下記アドレスで放送しています。
サポーターの『生の声』をお楽しみください。

[http://www.ustream.tv/
channel/sstak12-fcgifu](http://www.ustream.tv/channel/sstak12-fcgifu)

次回は4/14(土)21:00開始の予定です。

【第6節】熊本3-0岐阜

大分戦とほぼ同じ負け方だったかなあと。この2試合での5失点中4失点がリスタートからなので最早課題は明白なんです。

ただ、流れでの失点は劇的とまでは言わないけど着実に減少の兆しはあります。リスタートでの失点癖の改善が叶えばこの試合は最低でも勝ち点1は取れたと思うのです。熊本戦が終わった時点で得点も失点もワースト2位です。そしてJ2全てのチームの中で岐阜だけが先制点を取ってません。開幕戦でリード奪った時間はあったけどほぼずっとピハインドを負うかイーブンの状態で戦ってるわけです。これではやっぱり厳しいかなあと。課題は山積みです。しばらくはこの状態続くでしょう。けど変わる兆しも感じるんだよねあ.....臍げだけど。(ジュニア)

4月だというのに未だ冷え込む岐阜とは異なり、アウェイの地・熊本は暖かかった。桜も花開き、まさに春の陽気。おかげで(日焼け対策なんて完全に失念していたものだから)すっかり日焼けしてしまった(苦笑)。

さて、試合内容だが...これも、(残念ながら)お互いの地域の気候と同じようだった、といったところか...(溜息)。前節からスタメンを3名変えて臨んだ試合。序盤から、試合の流れを掴んでいたのは(ひいき目かもしれないが)FC岐阜の方だったと思う。しかし、思い切ってシュートを狙ったり、積極的に仕掛けるシーンには乏しかったように見えたのも確かだ。優位に進めている分、ことさら慎重にボールを回し過ぎて、結局は相手にボールを奪われていたような...(溜息)。

チャンスの後にはピンチあり、の前半33分。相手CKで、人数は足りていたはずなのに、ゴールの真ん前で相手選手を3人もフリーにさせてしまっていては、そりゃ決められちゃうよね...(溜息)...といった失点シーンだった。選手が吊り出されてしまったのか、マークの受け渡しのミスか、あるいはオフサイドトラップの押し上げが揃わなかったのか。いずれにしろ、監督や選手も言っているように、コミュニケーション不足が原因での、残念な失点だった。

ピンチの後にはチャンスあり。この試合最大の得点機会は、失点直後の前半36分にやってきた。こちらCKからのこぼれ球を#16キムドンゴンがシュート!熊本GK南が足で弾いた球を競り合ったが、惜しくも得点ならず...。しかし後半に向けて流れはできた、さあ後半は逆転だ!と思ったんだけどなあ...(溜息)。

後半僅か2分、1本目のCKで簡単に失点。これで試合の主導権は熊本に持っていかれた。後半8分には、またもGKとDFの連携ミスから3失点目を献上、完全に試合を決められてしまった。

試合結果を見ると、シュート本数も、CK数もFK数も、岐阜が熊本を上回っていた。なのに、3-0の惨敗。やはり、攻守共にセットプレーを改善しないと勝ち点3は得られないのだろうか...。非常に残念な結果に、試合後には選手に(ブーイングではなく)厳しい言葉がサポーターから飛んだし、選手たちはこちらを見つめて聞いていた。まだまだチーム戦術が浸透していない状況では、苦しい試合が続くのは分かるが、この試合結果はいただけない。この悔しさをバネに、選手たちには更に奮起して欲しいし、今節こそ初勝利をあげて欲しいと思う。(ささたく)

埋めネタで失礼。岐阜が2ゴールを叩き込まれた熊本の五領選手は、九州各県リーグ決勝大会で宮崎のMSU-FCの選手として岐阜の村尾選手と一緒にプレーしてる(MSU-FCは大学の2軍チームで、村尾も彼もその大会のためにピンポイント移籍して参加してた。村尾は彼の2年先輩になる)のを偶然観たことがあって。その時に光りまくっていたので、自分が「こいつはいい!」と思った選手が活躍するのを観るのは嬉しい。よりによってなんで岐阜戦で?という思いは当然あるけど(苦笑)。(吉田铸造)

前に水前寺訪れた時とはHomeとAwayの位置が逆になってるな...。そんな事を思い出しながら迎えた熊本戦、競技場の外で咲いていた桜のようにサクサクというわけにはいかず、またしても勝利とはならなかった。

試合を通して自分たちの時間帯はかなりあった(特に前半)だけに、そういう時に点を取らないとこういう結果になるという典型的な試合。またしてもセットプレーからの失点。次の試合まで重点的に練習して修正点を改善して欲しい。気になったのは、ドンゴンと他の選手とのコミュニケーション不足。やはり言葉の壁は厚いか。体躯があるだけに来たボールを跳ね返すという点においては頼もしく見ていられるのだが。次節はDFラインの組み替えも必要となってくるかも。

正直熊本の出来もそんなに良いとは思えなかっただけに、この結果はかなり堪えた。先日念願のクラブハウスが完成するなど、ピッチ外の面においても同時期にJリーグに昇格したものと士として、熊本には水を開けられてしまったなどと言わざるを得ない。

AwayならまだしもHomeでこんな内容の試合を見せられたとしたら、サポーターとしては堪ったものではない。弱い勝てないお客さんが入らないという負のスパイラルを断ち切るにはやはり結果を残すしかないのだ。まだ試行錯誤の段階かもしれないが、そんな悠長に構えていられない状況になりつつあるということももっと認識してもらわないと...(岐阜の誇り)

試合当日。4月1日は、熊本市が政令指定都市としてスタートする記念の日。前夜は昼間から市内でイベントが行われ、日付が変わる時には熊本城近くの繁華街・上通り(だったと思う)でカウントダウン。たまたま通りかかった自分も参加してしまったワケだが。今までの岐阜ならこの手の記念日やスタジアム内でのイベントがある日には、空気を読まずに勝っちゃったりすることが多かったような気がしてただけど、それも儂い夢と消えた。逆に花を添えてしまう形になったのが残念だ。

結果として0-3というスコアだし、またしてもセットプレーからの失点。オマケに、またもや2失点。ついでに言うなら取られた時間帯の悪さ。一点差ならまだしも、二点のピハインドはなかなか厳しい。草津戦以外は必ずセットプレーから決められるという失態は、やはりどこかに欠陥があると言わざるを得ない。互いの意思疎通、コミュニケーションが取れば改善されると信じている。

攻撃もそれなりに、決定機を作る手前くらいまではできているという気はするが、いかんせん、詰めの場が甘くタイミングが合わなかったり、人数が足りなかったり、いかにももどかしい限り。この試合も、スコアほどにはやられていたようには思えなかった。ジヌシーニョは熊本に脅威を与えていたと思うし、村上もいきなりスタメンだったがそつなくこなしていたように思う。ただ、先制されたあとの熊本ゴール前での混戦で決めきれなかったの最後まで響いた。3点差をつけられた流れでは、平のヘッドがバーに嫌われるのも必然か。

仲間も言っていたが、試合後真っ先にゴール裏に挨拶に来た昇平の表情が全てを物語っていたような気がする。熊本との差はここまで積み重ねてきたモノがあるかないか。もちろん、それだけとは思っちゃいないが、そこを一日でも早く埋めていきたい。そうなるように期待してるし、そうなるように応援していく。それにしても、クラブハウス完成はうらやましいゾ>同期の熊本。(ぐん、)

